証券日刊

2000年11月16日

店頭優良企業特集　日本証券業協会「店頭・ザ・マーケット」「フロンティア21」

K-ZONE
InternetTrader
www.k-zone.co.jp

店頭優良企業特集

《No. 4》

「フロンティア21」を開設

多彩な全国ＶＢ企業が登場

個人株主が100万人突破

日本証券業協会は、ベンチャー企業（VB）向けの株式市場間競争の本格化に伴い、投資家と企業向けの新サービス「店頭・ザ・マーケット」をスタートさせている。

一月末には、「第二店頭・ザ・マーケット」を開設、日証協が指定業の動向調査の中で、店頭企業の一人の支援および投資家への情報提供を行うための具体策の一つとして位置付けている。

同システムは、インターネット上で企業情報サイトを運営する株式会社「ケイソン」が運営する店頭登録用を投資対象にした、インターネット上で表示される投資シミュレーションである「総帳・日本証券業協会」、リアルタイムの市場価格のデータに基づいた銘柄情報が充実、参加者は銘柄間の高いオンライン・トレーディングが体験できる。

これに加え、日本証券業協会が運営する、インターネットを利用した各種情報・管理情報システムである「ナルス（ＴＲＥＳ）」上で開示された企業情報と、「店頭・ザ・マーケット」のコンテンツも（ウ月）日本ブリンタを使えると、上の一覧の充実を図っている。

「ケイソン」は、会員数が九万五〇〇〇人を突破、インターネット株式情報ランキング（ウ会社調べ）では、金融力チコリーにおいて第一位にランクされている。この度「第二店頭・ザ・マーケット」を含め、既に九万五〇〇〇人を突破した会員数のデータベースや、これまで開設してきたウェブ・アプリケーションサービスの提供、個人投資家における証券市場の本格化に伴い、投資家と企業向けの新サービス「店頭・ザ・マーケット」をスタートさせている。

一月末には、「第二店頭・ザ・マーケット」を開設、日証協が指定業の動向調査の中で、店頭企業の一人の支援および投資家への情報提供を行うための具体策の一つとして位置付けている。

同システムは、インターネット上で企業情報サイトを運営する株式会社「ケイソン」が運営する店頭登録用を投資対象にした、インターネット上で表示される投資シミュレーションである「総帳・日本証券業協会」、リアルタイムの市場価格のデータに基づいた銘柄情報が充実、参加者は銘柄間の高いオンライン・トレーディングが体験できる。

これに加え、日本証券業協会が運営する、インターネットを利用した各種情報・管理情報システムである「ナルス（ＴＲＥＳ）」上で開示された企業情報と、「店頭・ザ・マーケット」のコンテンツも（ウ月）日本ブリンタを使えると、上の一覧の充実を図っている。

「ケイソン」は、会員数が九万五〇〇〇人を突破、インターネット株式情報ランキング（ウ会社調べ）では、金融力チコリーにおいて第一位にランクされている。この度「第二店頭・ザ・マーケット」を含め、既に九万五〇〇〇人を突破した会員数のデータベースや、これまで開設してきたウェブ・アプリケーションサービスの提供、個人投資家における証券市場の本格化に伴い、投資家と企業向けの新サービス「店頭・ザ・マーケット」を開設し、個人投資家のための情報収集や分析、そのためのステージを提供する。

二階に到達した「フロンティア21」では証券業界の一月活動の支援を証券業界、および三セミナーの会場として利用のほか、証券会場に情報端末を設置し、証券会社の行われていない時間には、一般に開放、情報の収集を行う場を提供している。また、同協会は店頭マーケットの売買高、時価総額、株式公開ランキング、株価上昇率などの統計データを提供するなど、様々な情報からのサービスを提供。

よりどころの市場は、中堅中小企業の株式売買市場の場として、全国の企業の株式公開をスムーズに行えるようマーケットづくりを推進しており、二世紀に向けて店頭株市場は一段のステップアップが期待される。

「成長株の宝庫」店頭株市場には、現在二〇〇万人を超える個人、機人株主が参加、今後ユニークな投資と運営の場がたいに期待される。

海外市場動向の例に、上場企業の設立数をみせている中で、店頭株市場などの会社は設立数の増に貢献している。

証券業界によるアンダンジョルは、今日本に対し、「株式市場は在来ないし株価に連動され、株価値の方向に向かうと推測している。

現在、新規公開株の人気は低調だが、現実小型株人気が高まりれば、投資家層としても魅力的も数多く、新規公開企業群は近のクローズアップされてこよう。